

【やまぐちスポーツ医・科学サポートセンター】

YMS NETWORK

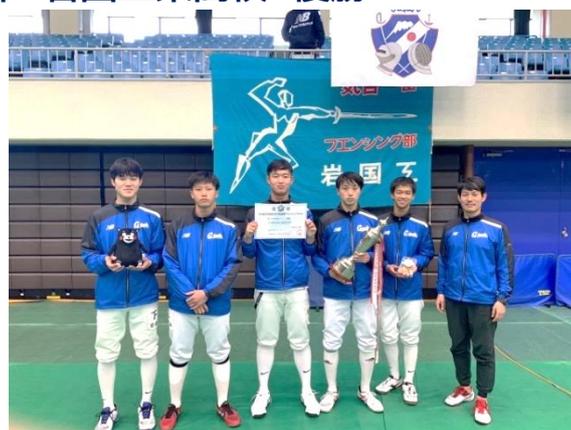
Topics !

全国高等学校選抜フェンシング大会 男子エペ団体 岩国工業高校 優勝

3月27日(日) 熊本県立総合体育館

春の選抜大会で、岩国工業高校フェンシング部が男子エペ団体で初優勝しました。YAMAGUCHI ジュニアアスリートアカデミーの修了生3名もメンバーの一員として活躍しました。

アカデミーの指導スタッフとして、小学生の頃から彼らを見てこられた顧問の本間邦彦先生にアカデミー事業の存在や今後の展望を伺いました。



左から下村選手、泉選手、田中陸大選手、中本選手、田中光己選手、本間先生

アカデミーから日本一そして、世界への挑戦

岩国工業高校 フェンシング部顧問
YAMAGUCHI ジュニアアスリートアカデミー
フェンシング競技 プロジェクト委員
本間 邦彦



昨年、開催された東京2020オリンピックの男子エペ団体において、岩国工業高校出身の加納虹輝が日本フェンシング界初の金メダル獲得に貢献し、国民に夢と希望を与えてくれたことは、まだ記憶に新しいところですが、この度、第46回全国高等学校選抜フェンシング大会の男子エペ団体においても、岩国工業高校が初優勝を果たしました。

その主力メンバーとして活躍したのが、YAMAGUCHI ジュニアアスリートアカデミー修了生の中本尚志(6期生)、下村祐翔(7期生)、田中光己(8期生)の3名でした。

アカデミーは平成21年よりレスリング競技とセーリング競技に特化して始まりましたが、フェンシング競技は平成26年にエペ種目に特化した形でスタートしました。今年で9年目を迎え、6期生の中本がフェンシング競技での1期生、下村が2期生、田中が3期生となります。

プログラムがスタートした当初は、エペ種目専門のクラブが国内には皆無で、前例のない取り組みであったため、ゼロベースからスタッフで指導方法を話し合い、試行錯誤しながら、子どもたちの指導に当たりました。そのため、アカデミーでフェンシング競技のキャリアをスタートし、エペの基礎を一から学んだ選手達が、力を合わせて全国制覇を成し遂げたことは、本人達のみならず、携わった全てのスタッフにとっても大きな喜びとなりました。

この結果を新たなスタートと捉え、アカデミーの目標である「オリンピックや世界選手権等の国際大会で活躍できる選手の育成」に、一步でも近づけることが、私たちスタッフの使命だと考えています。その第一歩として、4月にドバイで開催される世界ジュニア選手権大会に、中本が男子エペ日本代表として出場します。世界での位置を確認し、これからの取り組みにつなげるとともに、今後もアカデミー修了生から日本代表選手を輩出し続け、目標を達成できるよう全力でサポートしていきたいと思えます。